会長 | 担当理事 | 会計

（健Ⅱ360F）
令和３年10月18日

都道府県医師会
担当理事　殿

日本医師会常任理事
釜萢　敏
宮川　政昭
（公印省略）

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会
における審議を受けた対応について

今般、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）宛て標記の事務連絡がなされ、本会にも情報提供がありましたのでご連絡申し上げます。

本年10月15日、第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会において、10代及び20代の男性（以下「若年男性」という）については、新型コロナウイルスに感染した場合に合併して発症する心筋炎等の発生頻度よりは低いものの、ファイザー社に比べて武田/モデルナ社ワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度が高いことから、十分な情報提供の上、ファイザー社ワクチンの接種も選択することができるとの見解が示されました。

本事務連絡は、これを踏まえた接種体制について示すものであり、概要は下記のとおりです。また、若年男性への対応方法の詳細として、別添１「武田/モデルナ社のワクチンの接種を行っている都道府県等における対応例」及び別添２「武田/モデルナ社のワクチン接種を行っている職域接種会場における対応例」が、情報提供資材として別添３「10代・20代の男性と保護者の方へのお知らせ」が示されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会及び関係医療機関に対する周知方についてご高配のほどお願い申し上げます。

記

１回目の接種を希望する若年男性への対応

○本人が武田/モデルナ社ワクチン接種を希望する場合には接種可能であること。
○本人がファイザー社ワクチンの接種を希望する場合には、予約の振替等により、同ワクチンの接種が可能となるよう対応すること。

１回目の接種を終え、２回目が未接種の若年男性への対応

○本人が引き続き武田/モデルナ社ワクチン接種を希望する場合には、同ワクチンの接種は可能であること。
○本人が２回目の接種についてファイザー社ワクチンの接種を希望する場合等には、同ワクチンの接種を認めることが可能であり、２回目の接種における同ワクチンの使用可否ついては、予診の際に判断すること。
○若年男性以外の方は１回目と２回目は同一のワクチンを接種することが原則となること。

受 3.10.20 827 号

予約の振替等の対応

○既に予約をしている若年男性に対しては、別添３を適宜活用して丁寧な説明を行い、ファイザー社ワクチンの接種を希望する場合等には予約の振替等の対応をすること。その際、１回目に武田/モデルナ社ワクチンの接種を受けた者については、１回目の接種から 27 日以上の間隔を空ける必要があること。

○必要に応じて若年男性に対する優先的な予約枠の設定等の対応も検討すること。

職域接種を実施する会場における未接種の若年男性への対応

○職域接種ではファイザー社ワクチンの接種が実施されておらず、予約の振替等の対応ができないため 、当該若年男性に対し、別添３を活用して丁寧に説明する。その結果、ファイザー社ワクチンの接種を希望する場合には、コロナワクチンナビ又は市町村のホームページで近隣の同ワクチンの接種会場を検索し、予約するよう伝える等の対応となること。

ワクチンの配分について

○ファイザー社ワクチンの 10 月 11 日以降の配分については、都道府県が市町村間の調整を行った上で、更に必要となる場合には厚生労働省健康局健康課予防接種室が個別に相談を受け付けること。（令和３年９月 30 日付（健Ⅱ337F）参照）

○若年男性がファイザー社ワクチン接種を希望した結果、同ワクチンが追加で必要となる場合にも、追加供給に当たり、厚生労働省健康局健康課予防接種室に個別に相談すること。

事　務　連　絡
令和３年10月15日

各（都道府県／市町村／特別区）　衛生主管部（局）　御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会
における審議を受けた対応について

予防接種行政につきましては、日頃より御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、10月15日に開催された第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会（以下「部会」という。）において、10代及び20代の男性（以下「若年男性」という。）については、新型コロナウイルスに感染した場合に合併して発症する心筋炎等の発生頻度よりは低いものの、ファイザー社ワクチンに比べて武田／モデルナ社のワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度が高いことから、十分な情報提供の上、ファイザー社のワクチンの接種も選択することができるとの見解が示されました。

各都道府県及び市町村（特別区を含む。以下同じ。）におかれましては、本事務連絡に基づき、部会の見解を踏まえた下記の接種体制を整えていただくとともに、関係機関等への周知をお願いいたします。

記

１　若年男性への対応について

若年男性へのワクチン接種については、部会での見解を踏まえ、以下に示す若年男性の接種状況等に応じて適宜対応すること。

（１）１回目の接種を希望しているが、未接種の者

武田／モデルナ社のワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度は、新型コロナウイルスに感染した場合に合併して発症する心筋炎等の

発生頻度よりは低いことから、本人が武田／モデルナ社のワクチンの接種を希望する場合には接種を可能とすること。

他方、当該本人がファイザー社のワクチンの接種を希望する場合には、予約の振替等により、ファイザー社のワクチン接種が可能となるよう適切に対応すること。

対応方法の詳細については、別添１の「武田/モデルナ社のワクチンの接種を行っている都道府県等における対応例」及び別添２の「武田/モデルナ社のワクチン接種を行っている職域接種会場における対応例」を参照すること。

（２）１回目の接種を終え、２回目が未接種の者

（１）と同様、本人が引き続き武田／モデルナ社のワクチン接種を希望する場合には、同ワクチンの接種は可能であること。

他方、本人が２回目の接種についてファイザー社のワクチンの接種を希望する場合等には、ファイザー社のワクチンの接種を認めることが可能であること。この場合において、２回目の接種におけるファイザー社のワクチンの使用可否ついては、当該若年男性に係る予診の際に判断すること。

なお、今般の部会の見解を受けて交互接種が認められるのは若年男性であり、10代及び20代の女性やその他の年代の方は同一のワクチンを接種することが原則となることを申し添える。

２　１に伴う都道府県及び市町村の対応について

（１）丁寧な説明等

今般の部会の見解を受け、別添３のとおり、情報提供資材を作成したので、都道府県及び市町村においては、適宜活用することにより、問合せに対して丁寧に説明を行うこと。

（２）予約の振替等の対応

既に予約をしている若年男性に対しては、（１）の説明の後、ファイザー社のワクチンの接種を希望する場合等には予約の振替等の対応をす

ること。その際、１（２）に該当する者については、１回目の接種から27日以上の間隔を空ける必要があることも踏まえ、対処すること。なお、必要に応じて若年男性に対する優先的な予約枠の設定等の対応も検討すること。

（３）職域接種を実施する会場における未接種の若年男性への対応

若年男性の中には職域接種で予約済みの者や１回目の接種を終えた者もいる一方で、職域接種を実施する会場ではファイザー社のワクチンの接種を実施しておらず、（２）の予約の振替等の対応ができない。このため、職域接種を実施する会場においては、当該若年男性に対し、若年男性向けの情報提供資材を活用して丁寧に説明し、その結果、ファイザー社のワクチンの接種を希望する場合には、コロナワクチンナビ又は市町村のホームページで近隣の同ワクチンの接種会場を検索し、予約するよう伝える等の対応となるが、当該者から市町村に対して接種会場や予約に関する相談があった場合には、適切に対応すること。

３　ワクチンの配分について

ファイザー社のワクチンの10月11日以降の配分については、「ファイザー社のワクチンの10月11日以降の配分について」（令和３年９月28日付厚生労働省健康局健康課予防接種室事務連絡。以下「事務連絡」という。）において、まずは都道府県において市町村間の調整を行った上で、更に必要となる場合には個別に相談を受け付ける旨をお示ししていたところである。

今般の部会の見解を受け、若年男性がファイザー社のワクチン接種を希望した結果、ファイザー社のワクチンが追加で必要となる場合にはファイザー社のワクチンを追加で供給する。本事務連絡とは別に、別途お知らせする様式に必要事項を記入して個別に相談すること。

（別添１）

武田/モデルナ社のワクチンの接種を行っている都道府県等における対応例

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会における審議を受け、都道府県等における対応例をまとめましたので、十分ご留意の上、御対応をお願いいたします。

なお、10代及び20代の者については、2021年10月15日時点では、生年月日が1991年10月17日以後の者が該当します。

１　予約の振替え先会場の確認

都道府県は、市町村と連携し、すでに武田/モデルナ社のワクチンを予約している 10 代及び 20 代の男性が希望した場合にファイザー社のワクチンの接種を受けることができる会場を把握する。住所地外接種に対応している会場については、県内市町村と共有する。

２　接種会場での対応

（１）接種会場は、すでに予約を受けている接種予定者について、年齢及び性別を確認する。10代及び20代の男性については、可能な範囲で個別に連絡を行い、武田/モデルナ社ワクチンの接種意向を確認し、ファイザー社のワクチンの接種を希望する者に対して、同ワクチンの接種会場や予約方法等を案内する。

（２）接種会場は、予約情報から生年月日が確認できない場合や、上記の個別の連絡ができない場合、ホームページ等で住民へ十分な周知を行うとともに、（３）の対応を行う。

（３）接種会場の受付や予診において、被接種者が10代及び20代の男性に該当するかを確認する。

（４）接種会場を訪れた10代及び20代の男性については、別添３の情報提供資材を活用し、武田/モデルナ社ワクチンの接種意向を確認し、１．で把握したファイザー社のワクチンの接種会場やその予約方法等を案内する。

３　住民への周知

都道府県及び市町村は、ホームページ等を通じて、10代及び20代の男性については、ファイザー社のワクチンの接種も選択できる旨を周知する。

4　住民からの問合せ対応

都道府県及び市町村は、住民からの問合せが想定されることから、問合せへの対応手順等を検討する。

なお、厚生労働省新型コロナワクチンコールセンターにおいても、本件の問合せについて土日を含め対応している。

（別添２）

武田/モデルナ社のワクチンの接種を行っている職域接種会場における対応例

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会における審議を受け、職域接種会場における対応例をまとめましたので、十分ご留意の上、御対応をお願いいたします。

なお、10代及び20代の者については、2021年10月15日時点では、生年月日が1991年10月17日以後の者が該当します。

また、同検討部会の審議を受け、接種会場で予定している武田/モデルナ社のワクチン接種を急遽中止する必要はないことを申し添えます。

１　接種会場での対応

（１）接種会場は、すでに予約を受けている接種予定者（※）について、年齢及び性別を確認する。

10代及び20代の男性については、可能な範囲で個別に連絡を行い、別添３の情報提供資材の情報を活用して丁寧に説明した上で、武田/モデルナ社ワクチンの接種意向を確認し、ファイザー社のワクチンの接種を希望する者に対しては、ご自身で予約いただくべく、以下の対応例に倣って対応する。

（対応例）

・コロナワクチンナビからファイザー社のワクチンの接種会場を検索し予約いただくよう案内する
・市町村のホームページからでもファイザー社のワクチンの接種会場を検索できる場合があることを案内する
・市町村の広報誌をご覧いただくことや市町村窓口を案内する

（※）既に２回目の接種を終了している者は該当しない。

（２）接種会場は、予約情報から生年月日が確認できない場合や、上記の個別の連絡ができない場合は、接種会場の受付や予診において、被接種者が10代及び20代の男性に該当するかを確認する。

接種会場を訪れた10代及び20代の男性については、別添３の情報提供資材を活用して丁寧に説明した上で、武田/モデルナ社ワクチンの接種意向を確認し、ファイザー社のワクチンの接種を希望する者に対しては、ご自身で予約いただくべく、（１）の対応例に倣って対応する。

（3）接種会場は、（1）及び（2）の結果、予約が取れないという相談を受けた場合は、当該者の住民票が所在する都道府県に連絡し、ファイザー社のワクチンを接種できる会場や予約に関する調整を依頼したり、その他の会場や予約方法等の情報を聞き取り、当該者に案内する。

（4）接種会場は、（1）及び（2）のファイザー社のワクチンの接種を希望する者が接種可能な同ワクチンの接種会場を把握している場合は、当該会場に予約方法等を問い合わせるよう、案内する。この場合、住所地外接種に対応していないファイザー社ワクチンの接種会場があることに留意する。

2　接種対象者からの問合せ対応

接種会場に対しては、当該会場の接種対象者からの問合せが想定されることから、問合せへの対応手順等を検討する。

なお、厚生労働省新型コロナワクチンコールセンターにおいても、本件の問合せについて土日を含め対応している。

また、厚生労働省健康局健康課予防接種室（職域接種総合相談窓口）においても、職域接種会場からの問合せについて対応している。

（別添３）

10代・20代の男性と保護者の方へのお知らせ

2021年10月15日



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナワクチン接種後の心筋炎・心膜炎について

ファイザー社と武田／モデルナ社の新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに、心筋炎・心膜炎を発症した事例が報告されています。**特に10代・20代の男性の2回目の接種後4日程度の間に多い傾向があります。**

■10代・20代の男性も、引き続きワクチンの接種をご検討ください。

○新型コロナウイルス感染症に感染した場合にも、心筋炎・心膜炎になることがあります。感染症による心筋炎・心膜炎の頻度に比べると、ワクチン接種後に心筋炎・心膜炎になる頻度は低いことがわかっています。

○新型コロナワクチンは、発症予防効果などの接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をおすすめしています。しかしながら、ワクチン接種は、あくまでご本人の意思に基づき受けていただくものです。ご本人が納得した上で、接種をご判断ください。

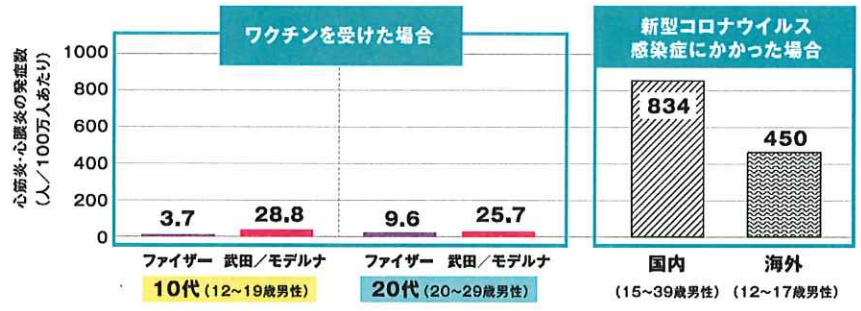
■10代・20代の男性は、ファイザー社のワクチンの接種も選択できます。

○10代・20代の男性では、武田／モデルナ社のワクチンより、ファイザー社のワクチンの方が、心筋炎・心膜炎が疑われた報告の頻度が低い傾向がみられました。

○武田／モデルナ社のワクチンを**予約中の方**も、武田／モデルナ社のワクチンを**1回目にすでに接種した方**も、ファイザー社のワクチンを希望する場合は、**予約を取り直していただければ、ファイザー社のワクチンを受けられます。**

○なお、ご本人または保護者が希望する場合には、武田／モデルナ社のワクチンを受けることもできます。

〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較（男性）〉



出典：第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第19回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（令和3年10月15日開催）資料

ワクチン接種後4日程度の間に胸の痛み、動悸（どうき）、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。

○こうした症状は、心筋炎・心膜炎の典型的な症状です。ただし、そのほかの原因でもこれらの症状となることがあります。医師の診察を受けましょう。

○心筋炎・心膜炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。

〈 日本国内の10代・20代で、ワクチン接種後に心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度 〉

（ワクチンを受けた100万人あたり）

年齢	男性		女性	
	ファイザー社	武田／モデルナ社	ファイザー社	武田／モデルナ社
12～19歳	3.7	28.8	2.2	0.0
20～29歳	9.6	25.7	1.1	1.4

※1回目接種後と2回目接種後の報告の合計値より算定（令和3年10月15日報告時点）

Q:10代・20代の男性以外でも武田／モデルナ社ワクチンの方が、心筋炎・心膜炎が多いのでしょうか。

A:令和3年10月15日時点における解析では、10代・20代男性以外の報告頻度については、ワクチン間に差はありません。
最新の値や他の年代の報告頻度は、ホームページをご覧ください。

厚生労働省 新型コロナワクチンQ&A:
https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0079.html ➡

Q:若者はワクチンを打たない方がよいということでしょうか。

A:日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果も報告されています。海外だけでなく、実際に日本において感染が拡大した時期でも、若者の感染者の増加が確認されており、引き続き若者に対してもワクチンの接種をおすすめしています。

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索